

日暈(にちうん)現象が見られたよ

今日の昼過ぎに6年生から「今見えているのは、何ですか?との問い合わせがありました。「今、見えている自然現象、なんて言うの?」との問い合わせでした。

急いで空を見上げると、大空いっぱい「日暈(にちうん・ひがさ)」現象が見られました。

デジカメで撮影して、お昼休みだったので校内放送をし、みんなに空を見上げてもらいました。放送では、「太陽の下にうっすら雲がかかって、光が雲中にある小さな六角形の氷の粒に屈折・反射してできますよ」と説明しました。氷の粒がにじをつくるプリズムの役目を果たすのです。

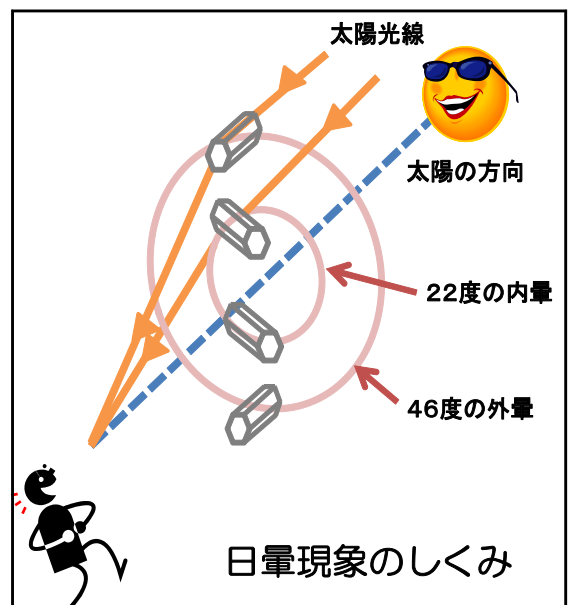
平成25年5月2日にも同様な現象があり、多くの学校や職場でこれを見た人が、中には気象台や新聞社、テレビ局などに「地震の前ぶれでは?」「不吉な感じがする」などの問い合わせもあったようです。

この現象、実は年間を通じてよく観察されるものなのです。こんな大きいのはまれですけどね。このような現象は月にも起こり、「月暈(げつうん・つきがさ)」と呼ばれています。

(文責：玉村かおり)



2016/7/14(木) 13:44 久米島町立清水小にて撮影



日暈現象のしくみ